



宝永小だより

No. 25

福井市宝永小学校
令和7年3月10日

学校教育目標:ひとり立ちできる子 ~心身共にたくましく、進んで学び合い、高め合う児童の育成~
めざす児童像:進んで学び合える子・協力し合える子・心と体を鍛える子・ふるさとを大切にする子

ご卒業おめでとう



希望を胸に巣立つ 37名



明日、3月11日(火)に卒業証書授与式が行われ、37名が6年間の小学校の課程を終えて、宝永小学校を巣立ちます。今年度は、第132回の卒業証書授与式です。卒業証書番号の第17833号から第17869号の卒業生となります。伝統ある宝永小学校の卒業生であることの自覚と誇りをもって、一人一人が勉強や運動に精一杯努力し、充実した中学校生活を送ることができるよう祈っています。

卒業証書授与式に合わせて、本校の各掲示板には様々なお祝いメッセージが掲示されています。左記の掲示物は、6年生の子どもたちが、2年生のときに作ったものです。各自が自分の絵を描いて、貼ってあります。6年生の子どもたちにとって、懐かしい掲示物です。

6年生「卒業作品展」開催

2月21日(金)~26日(水)

「6年生を送る会」の日から、多目的室において、「卒業作品展」が開催されました。6年生の子どもたちが、これまでの図工や書写の授業で製作したすばらしい作品が展示されました。

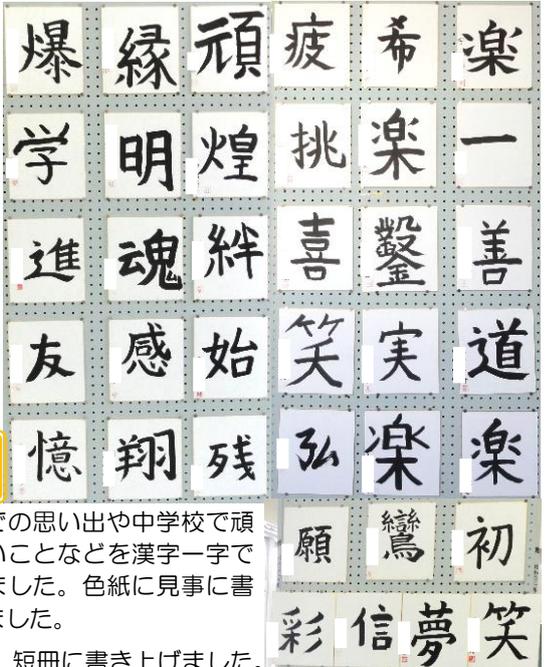
ランドセルの絵

「ありがとう ランドセル」と題して、6年間、使い続けた自分のランドセルを描きました。ランドセルへの感謝のコメントも添えられていました。様々な思い出がよみがえってきます。



秘密のMyラック

ボードに絵を描き、木彫りをした後に、色を付けて組み立てました。個性豊かなラックができました。



習字

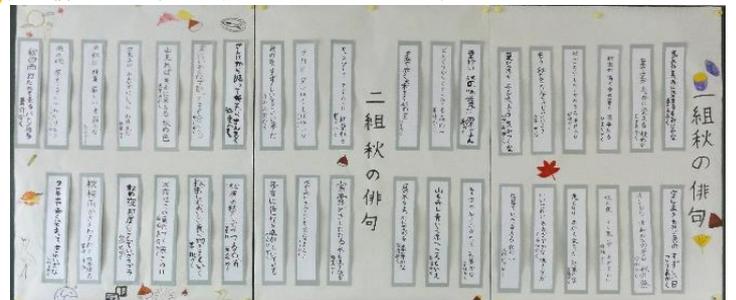
小学校での思い出や中学校で頑張りたいことなどを漢字一字で表現しました。色紙に見事に書き上げました。

俳句

秋に俳句を詠み、短冊に書き上げました。

未来の私

粘土を使って、自分の「未来の姿」を創作しました。いろいろな材料を使って動きを工夫しました。子どもたちの将来の夢は、プロ野球選手・建築士・先生・プログラマー・デザイナーなど…。子どもたちには、夢に向かって、頑張ってください。



6年生から下級生にバトンタッチ 2月25日(火)

6年生の卒業を前に、町内子ども会を開催しまし



た。まず、安全に集団登校ができるように、人数や学年配分などを考えて、新年度の班を編成しました。そして、新班長を決め、集合場所とその付近の安全、集合時刻を確認しました。さらに、旧班長を中心に、新1年生を含めた新年度の名簿を作成しました。新班長は、新1年生へ集団登校の班長や集合時刻等を知らせるお便りを作りました。新1年生には、このお便りを4月8日(火)の入学式の日に配付する予定です。

<新年度の班編成を確認する子どもたち>

翌日から、5年生や4年生の新班長が先頭での集団登校が始まりました。6年生は、最後まで、約束の7時40分~7時50分の間に学校に入ることができていました。

清掃の班長も、5年生や3・4年生にバトンタッチです。掃除の反省会は、掃除場所ごとに、新班長が進めています。

卒業証書授与式の翌日からは、集団登校も清掃も、6年生がいない状態で進んでいきます。新班長の見習い期間を終えて、いよいよ新体制での生活が始まるのです。6年生のお手本を見ながら学校生活を送ってきている子どもたちは、これまでに、ちゃんと班長としての姿を学んできています。これまで下級生を引っ張ってきてくれた6年生の子どもたちに感謝しています。

6年生 埼玉県の小学校とオンライン交流 2月25日(火)

県外派遣で本校に勤務する高澤 教諭とのご縁で、埼玉県毛呂山町立川角小学校の6年生の皆さんと、本校の6年生がオンラインで交流することができました。



<オンライン交流会の様子>

まずは、各校の修学旅行について紹介し合いました。本校では、京都・奈良・大阪へ行って学んできたことを紹介しました。川角小学校からは、栃木県にある日光東照宮や華厳の滝に行ったことが紹介されました。その後のクイズでも、互いの県の違いや学校の違いなどがわかり、子どもたちは驚いていました。オンラインで、直接、会話をすることで、子どもたちは、より親しみを感じたようです。子どもたちにとって、他県のことを知り、自分たちのふるさつを見つめ直す、良い機会になりました。

<6年児童の振り返り>ぼくは、宝永小学校と埼玉県毛呂山町立川角小学校とのオンライン交流会で、埼玉県のことをよく知ることができました。例えば、埼玉県は、雪が3cm積もると大雪になることや、給食でパンやめんがよく出ることを初めて知りました。相手の学校にも、福井のことを知ってもらえてよかったです。

<6年児童の振り返り>私は、埼玉県では、修学旅行で、ディズニーランドへ行っていると思っていました。しかし、埼玉県では、滝などがほとんどだったので、意外でした。クイズでも、ソフトクリームの消費量が1位なのも、ネギの生産量が多いのも、初めて知りました。福井県の話では、埼玉県の人たちが、おもしろい反応を見せてくれたり、楽しく問題に答えてくれたりしたので、がんばって作ったかいがあったなあと思いました。

感謝の気持ちを込めて

2・3月の生活目標は、「感謝の気持ちをもって過ごそう」



<メッセージカード>

です。日頃、お世話になっている皆様に感謝の気持ちを伝えようと、クラブ講師・見守り隊・紙芝居・どらごんぶっくす・施設技師・配膳員の皆様に、子どもたちは分担してメッセージを書きました。そして、それらを台紙に貼って、お渡ししました。2月26日(水)の給食の時間には、校内放送で、施設技師・配膳員の皆様への贈呈式を行いました。



<贈呈式後の記念撮影>

どのカードにも、子どもたちの感謝の気持ちが溢れていました。これからも、子どもたちには、関わってくださる皆様への感謝の気持ちを忘れずに学校生活を送ってほしいと思います。

4・5・6年生「ゆめ」をテーマに行灯作り

宝永まちづくり委員会主催の第25回「養浩館庭園



<完成した行灯>

<色塗りの様子>



ライトアップ2025」に向けて、子どもたちが行灯づくりに取り組みました。4年生は「将来の夢」、5年生は「9年後の宝永の未来」、6年生は「8年後の福井の未来」と、それぞれ具体的なテーマを設定しました。子どもたちは、和紙に下絵を描き、丁寧に色を塗っていきました。そして、枠に作品を貼って完成です。子どもたちの行灯には、「何でも作れる発明家になりたい。」「ぼくの夢は、サッカー選手になることです。」「町中が笑顔にあふれている宝永地区。」「歴史のある宝永地区を守りたい。」などの言葉も書かれていました。6年生の行灯には、北陸新幹線や恐竜、福井の特産物が描かれていて、「北陸新幹線で、今よりもっと観光客に来てほしい。」「全ての人が暮らしやすい町づくり」「特産品を生かした商品開発」などの言葉も書かれていました。夢いっぱい素敵な作品ができ上がりました。3月15日(土)・16日(日)に、点灯される行灯が楽しみです。

*この「宝永小だより」第25号は、6年生の皆さんにとっては最終号となりました。皆さんは、本校を巣立ち、中学生となりますが、私たち教職員は、皆さんをいつまでも見守り、応援し続けます。保護者の皆様、これまで本校の教育活動に、ご理解とご協力を賜り、ありがとうございました。